

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【23】 0126_サウサンプトン VS ニューカッスル

DATE

2025/01/26

NAME

田中裕介

サウサンプトン

3-4-1-2

1
A. マッカーシー

14
J. Bree

35
J. ベドナレク

6
T. ハーウッド=ベリス

2
K. ウォーカー=ピー...

26
C. ウゴチュク

7
J. アリボ

3
R. マニング

18
M. フェルナンデス

32
P. オヌアチュ

9
A. Armstrong

10
A. ゴードン

14
A. イサク

23
J. マーフィー

7
ジョエリントン

8
S. トナリ

39
B. ギマランイス

20
L. ホール

33
D. バーン

5
F. シェア

21
V. リヴラメント

1
M. ドゥーブラフカ

ニューカッスル

4-3-3

Scoreboard for Southampton vs Newcastle United. Southampton 1 - 3 Newcastle United. Goalscorers: Yan Bednarek 10', Sandro Tonali 51' for Southampton; Aleksandar Isak 26' (P), 30', Sandro Tonali 51' for Newcastle.

サブメンバー		
8	ウィル・スモールボーン ↑	↑ ミゲル・アルミロン 24
10	アダム・ララーナ ↑	↑ ジョー・ウィロック 28
16	菅原由勢 ↑	↑ ショーン・ロングスタッフ 36
19	キャメロン・アーチャー ↑	↑ ルイス・マイリー 67
24	ライアン・フレイザー ↑	キーラン・トリッピアー 2
4	フリン・ダウンズ	スフェン・ボットマン 4
13	ジョー・ラムリー	ウィリアム・オスラ 18
15	ネイサン・ウッド	ニック・ポープ 22
37	アルメル・ベラ=コチャンブ	ロイド・ケリー 25

	チーム別データ	
12	シュート	17
5	枠内シュート	9
53%	ボール支配率	47%
470	パス	428
84%	パス成功率	83%
10	ファウル	5
1	イエローカード	0
0	レッドカード	0
2	オフサイド	4
3	コーナーキック	8

MATCH REPORT

SCORE 1-3 (1st 1-2 2nd 0-1)

TOP3 point

- ・理想的な崩しで先制するも相手の質に屈したセインツ
- ・慌てず試合巧者ぶりを発揮したニューカッスル
- ・プレミア自国通算最多得点記録を塗り替えたイサク

Challenges to the Next

- ・マンツーマンに対する空いているスペースの説明
- ・相手陣地4-5-1ブロックに対する侵入案提示
- ・PKシーンでのファウルへの細かな説明

【サウサンプトン】

システムは3-4-1-2。

立ち上がりからマンツーマンで相手を捕まえにいくスタイル。

前線のオヌアチュという明確なターゲットがいたこともあり

自陣からビルドアップにこだわりすぎずに蹴るシーンも見られた。

先制点は右サイドを起点にポケットに侵入。一度下げたボールを右ストッパーのブリーがダイレクトでクロス。

ピンポイントクロスに合わせたのは前線に残っていたCBベドナレク。

ドンピシャのヘディングを合わせ先制する。その後ゴール前の混戦からイサクを倒してしまいPKで失点。その数分後には中盤で一枚剥がされてイサクにスルーパスを通して失点。前半を逆転されて折り返す。

後半も前から捕まえにいった後の蹴られたボールの回収に遅れをとり、トナーリに抜け出されてしまい失点。

その後は攻める時間はあるものの大きな決定機はセットプレーのみ。

個の質の違いを見せられる試合となった。

マンツーマン戦術をとるので、個での争いでの勝敗や

プレス時のセカンドボールの回収、蹴られた後のプレスバックを

高めていかないと広大なスペースを活用されてしまう弱さを露呈した。

次節以降チームとしてまずは失点を少なくするための意識や準備が

更に必要と感じた。

【ニューカッスル】

システムは4-3-3。

大きな布陣・メンバー変更はなく試合開始。

立ち上がりは選手の位置の入れ替わりを活用して相手陣地に侵入。

特に右サイドの3名リヴラメント・ギマランイス・マーフィーは

流動的にポジションをローテーション。相手左サイドの守備をうまく攪乱した。

しかし先制点はセインツ。自陣左サイドを崩されてCBバーンがサイドに吊り出された所を相手にうまく突かれてクロスから失点。嫌な雰囲気漂った。しかしすぐさま反撃。

ギマランイス-イサクのホットラインからイサクがPA内で倒されてPK。

これをイサクが冷静に沈める。直後中盤で抜け出して前を向いたマーフィーからキラーパス。抜け出したイサクが完璧なトラップからフィニッシュ。

個の質の高さを感じさせるゴールだった。

イサクはこのゴールでプレミアリーグのスウェーデン人の通算最多得点記録を更新。

後半もトナーリがセカンドボールの回収からスピードアップ。

イサク-ゴードンと繋ぎ丁寧なスルーパス。抜け出したトナーリは冷静に1-1を制した。

3-1になったあとは危なげなく4-5-1のブロックを自陣に敷きカウンター狙いにシフトチェンジ。

選手交代で強度を保ちつつ時間の経過を待った。先制されるも終わってみれば3-1。

個の質で優位にたったニューカッスルの試合巧者ぶりが光る試合だった。

個人的なMVPはイサク。

2点目のゴールは往年のティエリ・アンリを彷彿させるゴールだった。